

「誰も知らない配置の世界」

配置販売業とは

配置販売業は、究極の医薬品その他の訪問販売であり、医薬品に関しては、先に医薬品を顧客宅に置き、使用した分だけを後日、清算する「先用後利」というシステムです。

歴史的には、江戸時代からその業（富山県が発祥とされていますが諸説あります。）が始まったとされ、約300年超の歴史を持った業態です。

現在でも、その販売形態は変わっていませんが、医薬品以外の健康食品などの販売も行っており、その比率は医薬品以上を占めています。

配置販売業は、顧客と対面で販売することから、顧客のニーズ、健康状態などもわかり、時には受診勧奨をし、セルフメディケーションの一翼を担っています。

又、地域密着型ですので、防犯等安全パトロール的な役割も担っています。

災害時には、いち早く、被災地に赴き、飲料水、医薬品等の提供を無料で行っています。

配置販売業のキーワード

先用後利：「利益は後回し」というのが、配置販売業の鉄則です。先に商品を提供し、使用した分のみを後日回収するということです。これが配置販売業の大原則です。

訪問販売：常にお客様目線に立つことを基本としていますので、従事者が直接居宅に訪問し、お客様の健康状態などを見ながら、医薬品又は健康食品などをご紹介します。

配置販売業の許可

都道府県より配置販売業者の許可及びその従事者の配置販売従事者証の交付を受け、従事者はその証を携帯しなくてはなりません。

又、配置販売業従事者は、毎年、継続的に30時間以上の研修・講習の受講が義務付けられています。

配置販売業の主務官庁は、医薬品販売ですので、厚生労働省及び都道府県薬務課となりますが、訪問販売を業の形態としていることから、消費者庁、経済産業省及び消費者センターなどがあります。

今後の配置販売業

配置販売業の鉄則である、「先用後利」及び「訪問販売（対面販売）」は継承し、医薬品以外の商品を提供する、お客様のニーズを的確にとらえ、サービスの向上を目指していきます。薬局、チェーンドラッグスなどとの提携なども視野に入れ、ビジネスチャンスの拡大を目指していきます。

配置販売業の動向

配置薬業界の売上規模 年間約 1,600 億円

配置従事者月間平均売上額約 90 万円

月間平均訪問軒数約 300 軒 担当軒数約 900 軒

配置販売業許可件数 (29 年末) 既存配置 4,775 新配置 2,207 合計 6,982

配置従事者数 (29 年末) 既存配置 7,986 新配置 6,511

合計 14,497

既存配置販売業：従来からの配置販売業であり、毎年 30 時間以上の研修・講習を受けたものが、お客様の居宅に訪問し、医薬品などを提供する業 第 2 類・第 3 類医薬品のうち、経年変化の少ないいやくひんのみを提供できる。

新配置販売業：登録販売者がお客様の居宅に訪問し医薬品などを提供する業 第 2 類・第 3 類医薬品すべてを提供できる。

配置薬業界の売上規模 年間約 1,600 億円

配置従事者月間平均売上額約 90 万円

月間平均訪問軒数約 300 軒 担当軒数約 900 軒

配置販売業許可件数 (29 年末) 既存配置 4,775 新配置 2,207 合計 6,982

配置従事者数 (29 年末) 既存配置 7,986 新配置 6,511 合計 14,497